

力を合わせ安倍内閣の暴走にストップをかけよう！ 日本共産党議員団、正月の街頭宣伝で訴え

今年の正月はいかがでしたか。スキー場には一定の雪が降り、その他では雪が少なく助かったというところが多かったのではないのでしょうか。

私は正月の2、3日と上野議員とともに大型宣伝カーに乗り、宣伝行動をしました。時間の関係でまだ旧頸北地域、旧東頸城地域、直江津、桑取地域しか回れていませんが、これから順次回りますのでよろしく願います。

街頭演説では、昨年のご支援に感謝した後、参院選後の情勢について言及、「安倍内閣は参院選で衆参のねじれを解消できた後、平和の問題でも民主主義の問題でも、暮らしの問題でも暴走を始めた。とくに秘密保護法については圧倒的多数の人たちが慎重審議、廃案を求めている中で強引に法案を通したことは重大だ」と述べました。



また、今年に入って、今月のうちに「原発をベース電源とする」としたエネルギー基本計画を閣議決定しているところや、4月から消費税を上げ、年金カット、医療

の窓口負担の強化などをやるうとしている点についても触れ、安倍内閣の暴走にストップをかけようと訴えました。

正月早々だったこともあって人出は少なかつたものの、何人もの人から手を振っていた。き、激励を受けてきました。干し柿を差し入れてくださった方もありました。美味しかったです。ありがとうございます。

新年度予算要望書を提出

市役所の仕事納めだった先月の27日、日本共産党議員団では午前11時から市長あての来年度予算要望書を提出しました。



要望書では前文で、消費税の税率引き上げなど負担増が強いられるなか、「地方自治の本旨」に基づき、住民自治の発展と住民の福祉と暮らしを守る防波堤の役割を果たす地方自治体の役割が、かつてなく重要になっている」と市が市民生活を守る立場に立つことを求めました。

そのうえで、「住宅リフォーム促進事業を引き続き行うこと。また、商店向けのリニューアル費用の助成事業を行うこと」「子どもの医療

費は、一部負担金を含め、入院・通院とも卒業まで完全に無料にすること」「全国ワースト3の高額介護保険料を引き下げるとともに、市独自の介護保険料・利用料の減免制度を拡充すること。また、入所待機者に見合う特養などの施設サービスの整備を早急に行うこと」「敬老会への補助は、参加対象者を60歳以上としている地域が増えている現実を踏まえ、補助対象年齢の引き下げを図ること」など全体で56項目の市民の願いの実現を求めています。

応対した土橋総務管理部長とは15分ほど懇談、そのなかで「灯油の値上がりによって低所得世帯などが困っている、ぜひ福祉灯油の実施を」「入札制度改革は市全体の問題、ぜひ積極的な対応をしていただきたい」と訴えました。

申し入れ全文は私のホームページに掲載してあります。ご覧ください。



正月はこれが一番



桑取地区土口の観音様



【正月料理】今年の正月に食べたもののなかで一番印象に残った料理はこれ。左側は大根をすったものに酢が入っている食べ物です。酒を飲んだ後に食べたときの、さっぱりした味は他にはないものでした。右側のかまぼこと黒豆もシンプルでよかった。

「ばあちゃん、呼吸止まってしまっただけさあ」。下町の従姉の連れ合い、シズオさんから携帯電話をもらったのは年の暮れでした。柿崎区にある介護老人保健施設に入所していた伯母が一時、呼吸停止状態になり、危なかったという知らせでした。知らせを聞いたときは、父と同じことが起きていたと思いましたが、自力で痰を切る力がなくなり、痰が詰まりやすくなっている、その様子は容易に想像できませんでした。痰さえ取ってもらえれば、しばらくは大丈夫だろうとも思いました。

心配になったのは年が替わってからです。東鳥越の従姉に「おまん、ばちやのころへ行ってくんた？」と訊かれたのです。一瞬、「えっ」と思いました。時間のあるときに行こうと思っていたからです。伯母と会ってきた従姉がそう訊くということ、伯母の状態はあまり良くないのかも知れない、そう思ったら心配になりました。

伯母の家は旧吉川小学校のすぐそばにあり、昔は文房具、雑貨などを販売する小さなお店をやっていました。私が尾神から街に出かけるときは、必ずといってよいほど伯母の家を訪ねていました。行くと、伯母は売り場から少し奥まった部屋で行儀よく座っていて、「はい、そうですかいいね」とか言っていて、丁寧にお客さんの対応をされていました。とても新鮮でした。伯母はまた、父や祖父がどうしているかなどを私に尋ね、いつもわが家のことを心配してくれていました。その伯母が危ないかも……。

いったん「危ないのかも知れない」と思い始めるとじっとしていられないのが私の性分です。新年祝賀会があった日の夕方、伯母が入所している施設を訪れました。伯母が入っている部屋は一番奥にありました。玄関から伯母の所へ行くまでに何人かの施設利用者の方が「あつ、橋爪さんだ」と声をかけてくださいました。突然、私の姿を見て皆さん、びっくりされたのでしよう。職員のTさんの案内で部屋に行くのと、そこにはシズオさんの姿がありました。このところ、毎日、伯母のところに出かけ、励ましてくれていました。

伯母はベッドで寝ていました。寝ていたといつても眠っているわけではありませぬ。時どき、目を開けていたようですから。「ばあちゃん、代石（たいし）のノリカズさん、来てくんたつたよ。わかるかね」シズオさんが伯母の耳元で何回か同じ言葉を繰り返した時、伯母の目はかすかに開きました。そして、明らかにうなずいてくれたのです。うれしかったですね。

シズオさんは、私に伯母の具合について教えてくれました。一時はどうなることかと思っただけで、呼びかけに反応してくれるようになったし、ひ孫のユイちゃんの写真を見せると喜んでくれるようだといいました。

こうした変化に確信を持ったシズオさんは、毎日のように息子夫婦がメールで送ってくる孫の写真の現像し、アルバムふうにとめて伯母の部屋に持ち込んでいました。私も見せてもらいました。ユイちゃんが赤いアノラックを着て立っている写真、初めて自力でお茶を飲んだ記念すべき写真などがありました。写真の多くはユイちゃんの笑顔がいっぱいなんです。これなら伯母も喜ぶはずなんです。

午後五時半を回って、「そろりと失礼するわ」とシズオさんに告げると、また、伯母の耳元で「ノリカズさん、帰るって。バイバイしない」と催促してくれました。伯母は左手の指をちよっぴり動かしてくれましたが、その瞬間、胸がいっぱいになりました。その時の伯母の顔が晩年の父とそっくりだったのです。

新年祝賀会で大勢の方と挨拶

6日、リージョンプラザで上越市の新年祝賀会が行われ、約2000人の人たちが集いました。

オープニングは名立太鼓（写真）です。中学生を含むメンバーが力強い

太鼓の音を会場に響かせました。いい音でした。

新年の挨拶に立った村山市長は、2期目の主たる公約として掲げた行財政改革についてふれ、「実効性のある取組をスピード感を持って取り組みたい」とのべました。ただ、具体的にどう

いう改革をしていくかについては、今回は言及しませんでした。

このなかで同市長は、平成30年度には市の財政が歳入不足になることを明らかにしたうえで、「右肩上がりの地域を前提とした物質的な豊かさだけを求めるまちづくり、地域づくりはもはや限界に達している。心の豊かさなど新たな価値観を見出す取組が求められている」とのべ、牧区のものぎの会の取組を先進例として紹介していました。

行財政改革は市民のいのちや暮らしに直接かかわってき



ます。今年からの新たな動きに注目して、市民の立場で頑張っていきたいと思います。

乾杯の発声は瀧澤議長でした。今回が議長として（新年祝賀会の）最後の舞台となることもあって、力が入っていましたね。乾杯後は参加者同士での名刺交換、挨拶などが行われました。

私も、短い時間ではありましたが、これまでお世話になった学校の先生、元市役所職員、地域協議会委員など様々な分野で頑張っておられる人たちと新年の挨拶を交わすことができました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	1月1日(水)	1月8日(水)
上越南消防署	0.036	0.040
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.043	0.043
頸北消防署	0.056	0.040
頸南消防署	0.043	0.053
東頸消防署	0.057	0.043
高士分遣所	0.050	0.046
名立分遣所	0.043	0.047